

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算      支出科目    款：教育費      項：教育総務費      目：教育指導費

### 事業名    地域産業の担い手育成総合戦略事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会    学校支援課    産業教育係    電話番号：058-272-1111 (内 3881)

E-mail： [c17782@pref.gifu.lg.jp](mailto:c17782@pref.gifu.lg.jp)

1    事業費                      12,400 千円 (前年度予算額：19,400 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	19,400	5,997	0	0	0	0	0	0	13,403
要求額	12,400	5,997	0	0	0	0	0	0	6,403
決定額	12,400	5,997	0	0	0	0	0	0	6,403

## 2    要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

平成29年度岐阜県地方産業教育審議会答申を踏まえ、産業界等と連携し、地域資源(恵み)を活用し、地域の課題解決に向けた取組や実践的な体験等を通して、地域産業を担う専門的職業人の育成、国際感覚を有した職業人としての基盤形成等を推進していく。

### (2) 事業内容

#### ①産業界等と連携による協議会設置

地域資源を活用した取組に対し、産業界等と意見交換

#### ②地元産業界等の協力を得ながら、地域資源を活用した外部人材・外部施設設備の活用、他学科連携による専門的職業人の育成事業

- ・地域の課題解決に向け、専門家から学ぶ環境を構築し地域で活躍できる人材の育成。
- ・外部施設設備の活用による先進的技術力の育成。
- ・学科横断的な取組等を通じて、地域の課題解決に向けたアイデア創出や地域資源を用いたブランド形成力等の育成。

### ③ 中長期インターンシップ事業

地元産業界と連携した実践的な学習活動の場面（企業での就業体験活動）を通して、地域産業を担う専門的職業人の育成。

### （３） 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

### （４） 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	2,400	社会人講師等への謝金
旅費	2,000	社会人講師旅費等
消耗品費	3,481	実習材料費等
保険料	559	賠償責任保険、傷害保険
使用料及び 賃借料	3,960	バス借り上げ料
合計	12,400	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### （１） 各種計画での位置づけ

#### ・ 第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針 1 んふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成

目標 2 地域と連携したキャリア教育の推進

目標 3 国際理解教育の充実とグローバルに活躍する人材の育成

目標 4 優れた才能や個性を伸ばす教育の推進

目標 5 産業教育の推進

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

**（事業目標）**

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 地域産業を担う人材育成を果たす専門高校として、第3次教育ビジョンにおいて、地域の課題解決・探究型学習の確立、グローバルな視野と国際感覚の醸成、専門的知識・技術力向上に向けた取組を地元産業界等と連携しながら実践的・体験的な教育プログラムを実施する。

**（目標の達成度を示す指標と実績）**

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	( H )	( H ) ( H )	( H )	( H )	%
	( H )	( H ) ( H )	( H )	( H )	%

**○指標を設定することができない場合の理由**

地域の産業界等と連携しながら、専門的職業人の育成に向けた事業のため指標設定になじまない。

**（前年度の取組）**

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
 産業界等からの意見を踏まえ、各校において課題探究型学習の実施  
 地元企業の研究、海外の現地法人や教育機関の訪問、職業教育の体験

**（前年度の成果）**

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
 各校における協議会や地域の課題解決・探究型学習等を通して地元産業界等との連携を構築することができた。  
 また、海外の現地法人や教育機関の訪問により、国内のみならず海外に目を向けた産業を捉えていく力を養成することができた。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い     △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	地元産業界等との連携をさらに深め、地域産業界等とともに地元産業を担う地域社会人を育成する必要がある。生産年齢人口の減少が見込まれる中、地域産業を支える担い手育成が求められている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	学校・学科の特色を生かしながら、地元産業界等とも連携し地域資源を活用した取組が実施されている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている     △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	外部人材や外部施設設備等を有効活用しながら、地域社会人の育成につなげている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 産業界との持続的な連携・協力関係の構築</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 本県の産業を支え、地域産業を担う人材育成及び地域に貢献できる人材育成の観点から、外部人材・外部施設設備の活用や中長期インターンシップ等を通して、実践的な学びを確保していく。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	